

おおるり

八王子消化器病院ニュース

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS

第79号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

—患者様のための医療—

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.hachiojishokaki.com

制作 (株)教育広報社

「子曰わく、吾れ十有五にして学に志ざす。三十にして立つ。四十にして惑わず・・・」中国紀元前の思想家孔子が残し「論語」に記された有名な一文で、ご存じの方も多いかと思います。十五歳で学問を志し三十歳になり、その基礎が出来上がった。四十歳になると自己の学問に自信を得て、その方向性が妥当であると確信したと、晩年の孔子が語つたと言われています。

1983年5月17日「患者様のための医療」を基本理念に当時、先進的であつた消化器疾患専門病院として、当院の前身である中山記念胃腸科病院が開院しました。世界的な消化器外科医として名声を博した故中山恒明先生の下、僅か3名の医師と80名弱の職員で多難な創成期を乗り越え、1996年には八王子消化器病院と改称し診療体制の整備・拡充を進めてきました。そして、八王子市医師会や地域の皆様方に支えられ本年、開院40周年を迎えることができました。

私たちも、孔子のような傑物ではありますせんが同様に「四十」を数えると、その基本理念「患者様のための医療」に矜持を保ち、確固たる信念のもと進むべき道を歩んでいます。十五にして、三十にして、四十にして・・・と、一つひとつステップを積み重ねていく経験が私たちを支える礎となっています。そして、その「四十」を共に過ごし当院を開院から現在に至るまで支えてこられた三人の賢人が、第一線を退くこととなりました。ここに万謝すると共に改めて、ご紹介させ

「子曰わく、吾れ十有五にして学に志ざす。三十にして立つ。四十にして惑わず・・・」中国紀元前の思想家孔子が残し「論語」に記された有名な一文で、ご存じの方も多いかと思います。十五歳で学問を志し三十歳になり、その基礎が出来上がった。四十歳になると自己の学問に自信を得て、その方向性が妥当であると確信したと、晩年の孔子が語つたと言われています。

1983年5月17日「患者様のための医療」を基本理念に当時、先進的であつた消化器疾患専門病院として、当院の前身である中山記念胃腸科病院が開院しました。世界的な消化器外科医として名声を博した故中山恒明先生の下、僅か3名の医師と80名弱の職員で多難な創成期を乗り越え、1996年には八王子消化器病院と改称し診療体制の整備・拡充を進めてきました。そして、八王子市医師会や地域の皆様方に支えられ本年、開院40周年を迎えることができました。



四十にして惑わず、そして・・・

八王子消化器病院 副院長 斎田 真

ていただきます。

林 恒男 元病院長

東京女子医大消化器病センター第5期生として、また故中山先生の本流である食道外科医として、東京女子医大病院から旧中山記念胃腸科病院、そして現在に至るまで消化器外科の第一線を邁進されました。当院の開院当時を伺うと、廃院となつた病院からのスタートで建物に足を踏み込むと名札や書籍が散乱し、一部は崩れてしまいそのまま造建築であつたそうです。「白衣なんていらなかつた」と仰る理由を伺うと「まずは掃除だつたから・・・」。そのような創成期を経て当時、最先端を進んでいた消化器内視鏡専門医・指導医として内視鏡検査・治療から後輩の指導に携わられました。普段の穏やかな表情からは想像できない鋭い眼光で、手術術野を内視鏡画像をしかと見極める、その眼差しは「まだまだ現役ですよね」。

久野 久夫 前事務長
当院の事務長、そして理事として約33年、病院運営に尽力されました。多摩地域の消化器疾患専門病院として当院の名を、ここまで広めていたため功労者です。地域に愛される病院であるためには最初に、その名を知つてもらう必要がありました。前述の先生方の力が特出していたことは言うまでもありませんが、それを知らしめるため、どれほどの下地を作られたのでしょうか。様々な地域の会合や行事に参画し当院の「顔」として奔走された、その姿は印象的でした。また、20年以上継続している当院のロビー・コンサートや八王子消化器病院友の会、本誌おおるりの発刊等、久野前事務長の奮励によるものと言つても過言ではありません。

孔子の言葉には続きがあります。
「五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従つて、矩(のり)を踰(こ)えず」
五十歳、生きる意味を何をすべきかを理解し、六十歳になれば人の言葉を素直に聞き入れることができる。そして、七十歳となれば欲望のままに行動しても道理を外れることはない。

私たちも先人が創り上げた、この八王子消化器病院を守り発展させ、未来に繋いでいく義務があります。五十年、六十年、七十年。これからも地域に貢献する病院として、員一丸となつて一步一歩、日々の診療に取り組んで参ります。

もその一人で、同門の札幌医科大学出身もあり良き先輩医師として数多くのことを学ばせていただきました。

今泉 俊秀 先生

東京女子医大消化器病センター第7期生。当院二代目理事長の羽生富士夫先生の右腕として、同センター准教授、東海大学教授を経て当院の膵臓病センターの開設に携わられました。腹部領域における最難関手術である膵臓外科の道を鋭意専心され、その「心」と「技」を私たち後輩に伝承していた

を頼りに多くの患者の皆様が来院される中、気さくでユーモアのある人柄に心癒され、安心感を持たれた方も多いと思います。私

もっと知りたい!
身体
病気
治療
のコト

潰瘍性大腸炎について

治療編 (血球成分除去療法)

ME科 科長 高崎 直哉

・治療中
血液が体外へ連続的に取り出され、白血球を吸着するカラムを通過した後、体内に戻します。治療時間は約60分で、その間はベッド上で安静に過ごせます。

・治療終了時
治療終了後は、カラム内の血液を体内に戻します。針を抜いて止血し、血圧・脈拍等を測定して治療終了となります。

・治療終了時

治療終了後は、カラム内の血液を体内に戻します。針を抜いて止血し、血圧・脈拍等を測定して治療終了となります。

・治療終了時
血液が体外へ連続的に取り出され、白血球を吸着するカラムを通過した後、体内に戻します。治療時間は約60分で、その間はベッド上で安静に過ごせます。

・治療終了時

治療終了後は、カラム内の血液を体内に戻します。針を抜いて止血し、血圧・脈拍等を測定して治療終了となります。

八王子消化器病院ニュース

◇はじめに

前回、解説させていただいた薬物療法に加え、当院で行っている潰瘍性大腸炎(Ulcerative Colitis: UC)の治療法の柱のひとつに血球成分除去療法があります。

同療法は、①薬物療法では治療効果が得られにくい場合(ステロイド投与が奏効しづらい「ステロイド抵抗例」やステロイドの減量により症状が悪化する「ステロイド依存例」等)や②中等症から重症のUCで外科手術を必要とする前段階での治療法として選択されます。

また、近年では③薬物療法の効果向上させるためや④UCの症状が落ちている寛解期を維持するための治療法としても用いられます。

今回は、この血球成分除去療法について治療に携わる臨床工学技士の立場から、ご説明させていただきます。

◇血球成分除去療法とは

血球成分除去療法は、身体から一時的に取り出した血液を血液浄化器(カラム)と呼ばれるフィルターを通して、血液中の血球成分(白血球等)をカラム内部で吸着し、その後、血球成分が除去された血液を体内に戻す治療法です。CAP

(Cytapheresis)療法と呼ばれることもあります。

◇なぜ白血球を除去するのか

UCは、免疫機能(白血球をはじめとした外敵から身体を守る防衛システム)が破綻を来て過剰に反応し、自分の大腸を外敵と誤認して攻撃してしまうことが原因とされています。その際、原因となっている白血球を血液中から選択的に除去することで炎症を落ち着かせ、下痢や血便、腹痛を改善させる効果が期待されます。

◇治療スケジュール

患者の皆様一人ひとりの症状等により、スケジュールは異なりますが概ね1週間に2~3回実施し、当院では入院中に最大10回まで治療を行います。

◇治療当日の流れ

・治療開始時
血液を体外に取り出しやすくするために点滴をします。

・治療開始時

治療場所となる病棟の回復室または個室に移動します。その後、ベッドに横になります。血圧・脈拍等を測定し、体外に血液を取り出すための針と戻すための針を左右の腕に刺します。

①白血球を除去しても元に戻るのでしょうか?

効果的な治療を行うために1回の治療で血液全体の約1/4をカラムに通過させます。そのため、白血球数は一時的に減少しますが、2時間程度で治療前とほぼ変わらない数値に戻ると報告されています。

②針を刺す時の痛みをどうにかできませんか?

治療時には、毎回針を刺すことがあります。そのため痛みを軽減するためのテープや薬を使用することができますので、ご希望される場合は主治医にご相談ください。

③治療の途中でトイレに行きたくなつても大丈夫でしょうか?

治療中は、臨床工学技士が傍に控えていますので、一時中断し

血球成分除去療法のイメージ



トイレに行くことができます。その後、治療を再開できますので遠慮なくお声かけください。

◇最後に

我が国では、UCの患者数が20万人を超え現在も増加しています。傾向としては若年層が多いですが、幅広い年齢層で発症する病気です。その中で、血球成分除去療法は、比較的重症度の高い患者に適用されています。中でも、症状を自覚されていても受験や就職、仕事等のライフイベントにより受診を我慢されている方が重症化し、血球成分除去療法を受けられるケースが多く見られます。

UCにおいても早期発見・治療が重要で、数日で改善されない頻度の高い下痢や粘血便はUCの可能性が考えられます。気になることや不安に思うことがあります。気になったら、早めの受診をお勧めいたします。

野口清作少年左手手術成功
渡邊鼎（かなえ）医師のお話

八王子市川口町 在住

伊藤 善創 さ



風薰る新緑の候に原稿依頼を
いただき、現在ペンを執り始め
たところです。八王子消化器病
院にお世話になり、早や二十年
が過ぎようとして居ります。

その後は順調に推移し、経過観察及び検査を続けさせていただいている。消化器病院に行き、その帰り際、ふと感ずることがあります。それは先生方をはじめ、皆様から「一緒に治しましよう」という医の倫理と誠意を感じます。最近では息子が突然お世話になり、誠に有難く感謝致しております。今後につき、消化器病院の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

私は八王子市内にて自営業を営む傍ら、長年執筆活動を続け、五冊ほどの出版図書があります。そのうちの一冊が渡邊鼎の図書であり、此度は彼のお話を心よりお祈り申し上げます。

ままサンフランシスコにて医院を開業。父の逝去に伴い帰国。明治二十三年東京千代田病院（現在の順天堂病院）院長となり、その後、故郷福島の人々の懇請により会津若松に会陽医院開業。そこへ猪苗代翁島村から猪苗代高等小学校主席訓導の小林栄に連れられ、やつて来たのが清作少年であります。彼の左手は囲炉裏でやけどを負い、一つの塊になつてました。彼医師は「右手のようにはならないが各指は動くようになるだろう」そう言つてくれたのでした。母シカは責任を痛感していました。母シカは責任を痛感していました。後にその言葉を聞き「闇夜に堤灯だつた」と述懐したそうです。手術は見事成

をさせていただきたく思います。渡邊鼎は東京大学医学部の前身、南校と東校で学び、その後、米国カリリフォルニア大学医学部に於いてドクトルオブメディスン医学博士となり、その

功裏に終了。経過も良く、その後、鼎は清作少年を書生として預かつたのでした。鼎がドイツから取り寄せた千二百倍顕微鏡が清作少年にとつて、とても大きなきつけとなり、更に勉強意欲を搔き立てた模様です。彼の医師になりたい、と云う強い願望と勉学意欲は何がそうさせ

四名。並みいる帝大生を尻目に晴れて医師となつたのでした。清作は研究の道を進むべく順天堂医院の助手となり、その後北里柴三郎の「伝染病研究所」へ入所、研究員となつたのでした。明治三十二年（一八九九）十月二十一日を以つて清作は官籍上、正式に「英世」と改名を

林栄からは世界の英傑になつて欲しい、そのように言われ決めたとのことです。鼎は、アメリカに渡り世界の「ヒデヨ・ノグチ」へ成長していく彼に、恒常的な励ましと指導育成を続けたのでした。

野口英世は何故、ノーベル賞受賞ならなかつたのでしう。フランスレジオンドヌール勳章、スエーデン勳章、世界のあらゆる国々より相応の勳章を受賞していたにもかかわらずノーベル賞には至りませんでし

近年の著書
会津松平容保公
御孫姫 秩父宮妃
勢津子さま ご成婚九〇周年を祈念
して(福島民報社出版部)二〇一八年
「二〇一九年 全国新聞社出版協議
会主催ふるさと自費出版大賞優秀賞
受賞」
徳川討幕 会津せん滅 薩長同盟の裏
舞台 歴史春秋社 二〇二一年



明治 30 年頃のハイカラなスタイル 渡邊鼎ご夫妻

ドクタープロフィール 2023

理事長	原田 信比古 (はらだ のぶひこ) 東京女子医科大学 消化器外科元派遣准教授 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科	病院長	小池 伸定 (こいけ のぶさだ) 東京女子医科大学 消化器外科非常勤講師 専門: ◎消化器外科
	齋田 真 (さいだ しん) 東京女子医科大学 消化器外科元助教 専門: ◎消化器外科 ◎腹腔鏡外科 分野: ◎がん化学療法		森下 慶一 (もりした けいいち) 東京女子医科大学 消化器内科非常勤講師 専門: ◎消化器内科 分野: ◎内視鏡的診断処置
副院長	尾崎 雄飛 (おざき ゆうひ) 東北大学医学部 移植・再建・内視鏡外科(旧第二外科)元医員 専門: ◎消化器外科	消化器内科医長	大島 奈々 (おおしま なな) 東京女子医科大学 消化器外科元助教 専門: ◎消化器外科
	植村 修一郎 (うえむら しゅういちろう) 東京女子医科大学 消化器外科准講師 専門: ◎消化器外科		原 敏文 (はら としふみ) 東京女子医科大学 消化器内科元医員 専門: ◎消化器内科
医師	小林 瞳季 (こばやし むつき) 東京女子医科大学 消化器内科助教 専門: ◎消化器内科	医師	土田 浩喜 (つちだ ひろよし) 富山大学 消化器・腫瘍・総合外科元医員 専門: ◎消化器外科
	林 恒男 (はやし つねお) 東京女子医科大学 消化器外科元講師		今泉 俊秀 (いまいずみ としひで) 東海大学 消化器外科元教授／東海大学医学部付属 東京病院 客員教授 東京女子医科大学 消化器外科元助教授 ドイツ・ウルム大学外科 元客員教授
● 化学療法外来 川上 和之 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科元准教授		■ 膵臓病センター 予約制	
● 膜原病・リウマチ・痛風外来 高木 香恵 東京女子医科大学附属足立医療センター 内科准教授		■ ピロリ菌外来 毎週木曜日:午前	
● 糖尿病外来 大野 敦 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科兼任准教授 松下 隆哉 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科講師		■ 炎症性腸疾患 (IBD) 外来 第4火曜日、 第5金曜日:午前	
		■ 胆石・鼠径ヘルニア外来 第1・第2火曜日、 第3金曜日:午前	

想うこと



本年も梅雨入りとともに、日本列島は前線の影響で曇天・雨天に覆われました。一般的には嫌われるものの梅雨ですが、緑を育む慈雨となり、水瓶を満たして“世界に冠たる日本の美味しい・安全な水”をもたらしてくれる、大切な季節の行事とも言えるものです。とはいって、ジメジメ・ムシムシ、うつとうしいだけでなく、最近は線状降水帯なるものが出現し、正直怖ささえ感じます。でも、嫌

だなと思っているだけでは益々、気が重くなるので数年前から、この季節を楽しむように心掛けることにしました。楽しみの一番目は雨をタップリ含んで咲き満つる紫陽花を観て回ること。二番目は梅雨空を変幻自在に飛び交う燕を観察することです。彼等の素早い飛翔は胸のすく思いです。

皆さんは、どのように梅雨を乗り切りましたか？
理事 久野久夫